

平成26年4月27日  
今週のベストショット



青松園A 奈多クラブ 対 レッドサンデーズ戦

三回表、アウトコース低目のチェンジアップを見事に右越えHRとした奈多クラブ三番今林祐将選手。

写真：新町パイレーツ 安部貴大

青松園A 奈多クラブ、今林瑠生投手の好投で快勝！

奈多クラブ (1勝) 2 0 1 0 0 3 1 7 今林瑠○ー今林卓

レッドサンデーズ (1敗) 0 0 0 0 0 0 0 0 江口●、土師ー荒口

HR：今林祐将(奈多ク) 3 BH：今林卓也(奈多ク) 2 BH：今林健(奈多ク)

奈多クラブは初回、二死から三番今林祐将選手がセンター前ヒットで出塁すると、四番の今林卓也選手のスリーベースヒットで1点を獲得。その後パスボールでもう1点追加し試合を有利に展開する。三回表には今林祐将選手のライト越えの豪快なソロホームラン、六回表にはツーベースヒットと相手のミスにより3点を追加。さらに最終回にも1点を追加し最後まで攻撃の手を緩めなかった。一方投げたは今林瑠生投手が完封の好投。六回一死まで四死球すら出さないパーフェクトピッチングであったが、レッドサンデーズ八番、今月22日に誕生日を迎え71歳になった田浦選手が三遊間を抜けるレフト前ヒットでこの状況を見事打破！！自分自身を祝うかのような少し遅めのバースデーヒットが生まれ、これがチーム初ヒットとなった。最終回にも三番神田選手が内野安打を放つ。その後追い上げを見せたかったが後続が凡退しゲームセット。完敗を喫したレッドサンデーズだが、終盤の2本のヒットはチームの士気を上げ、次の試合を勝利するためにも大事なものであったと思う。奈多クラブは昨シーズン2位の力を遺憾なく発揮し初戦を白星で飾る好スタートを切った。

(記事、写真：新町パイレーツ 安部貴大)



両チーム今年の初戦、試合開始！



今季移籍、レッドサンデーズ先発の江口投手。



初回、先制の中越え三塁打を打った今林卓也選手。



レッド打線を2安打完封に抑えた奈多クラブ今林瑠生投手。



三回表、右越えHRを放った奈多クラブ今林祐将選手。



パーフェクトを免れるチーム初ヒット！レッド田浦選手。

### 青松園B 奈多フェニックスが11安打15得点の快勝！

三苦三球会 (1敗) 00102 3 吉留●、大津一藤澤、山崎

奈多フェニックス (2勝) 4335× 15 池見○-実延 (新)

HR : 今林英二 (奈多フ) 3 HB : 右山 (三球会) 2 HB : 山村 (奈多フ) 盗塁 :



初回、三球会の攻撃。三番藤澤選手が左翼へのヒットで出塁するが、相手セカンドの好守備に阻まれ、無得点。その裏、奈多フェニックスの攻撃。一番西藤選手のヒットから相手の失策や四球も絡み満塁とする。続く五番実延新伍選手、六番山村選手のタイムリーでこの回一気に4点を奪う。フェニックスは二回にも、相手の失策と四球から満塁のチャンスを作り、四番実延彰洋選手の左翼前のタイムリー、六番山村選手の左中間へのタイムリーで3点を追加。三球会も何とか食らいつこうと一番大津選手が内野安打で出塁すると、ボールが転々としている間に三塁を陥れ、相手のパスボールで1点を奪う。しかし、勢いのついたフェニックスは三回裏の攻撃も三番今林英二選手の2点本塁打など3点、四回裏は今日猛打賞&4打点目となる山村選手のタイムリー二塁打等で5点を奪いゲームを決めた。最終回は三球会の意地が！藤澤選手、堺和彦選手がそれぞれこの日2本目となる右翼前へヒットと放つと、六番右山選手が左翼オーバーの大飛球。あわや3ランかと思ったが、相手の好返球に阻まれホームでタッチアウト。終わってみれば、毎回得点のフェニックスが15点の大勝。しかし、最終回に見せた三球会の粘りも、次の試合に好影響をもたらすだろう。（記事、写真：三苦フレンズ 肥喜里一征）



奈多フェニックス先発の池見投手。



一回表、この試合の初安打、三球会藤澤選手。



一回表、難しいセカンドフライを抑える今林心一選手。



三球会先発の吉留投手。



一回裏 サードゴロを捌く三球会堺和彦選手。



一回裏、先制点を奪う奈多フェニックス今林文彦選手。





三回表、振り逃げで出塁、三球会渡辺選手。



三回裏、見事な背面キャッチ三球会浜口選手。



三回裏、ナイスダイビング三球会渡辺選手。



三回裏、相手失策の間にホームイン今林誠選手。



四回表、センターフライを確実に抑える山村選手。



四回裏、三球会の二番手、大津投手。



五回表、三塁打を放つもホームでタッチアウト、右山選手。



試合終了の挨拶。



## 雁ノ巣軟式2 サンデーズ、堅実な試合運びで勝利！

新町ウインズ (2敗) 0000010 1 藤田●ー松岡

奈多サンデーズ (2勝) 110202× 6 塚本○ー長濱

盗塁：田中、野々下3 (奈多サ)

年々、順位を上げているウインズと昨年の覇者奈多サンデーズとの一戦になった。先発はウインズ藤田投手、サンデーズ塚本投手。初回サンデーズ塚本投手はウインズを三者凡退でスタートを切った。その裏、サンデーズは二死後、三番秋山選手がライト前に球を運ぶとライトがこれを後逸し、秋山選手はそのままホームに返り、1点を先制。ウインズは二回表、四番野田選手がセンター前ヒットで出塁するがダブルプレーであとが続かなかった。その裏、サンデーズは五番野々下選手が四球で出塁すると三塁までの盗塁とパスボールを足で稼いで1点を追加。ウインズは早く点を取って追いつきたいが塚本投手を責めあげね、1点を取ることが出来ない。四回裏、サンデーズは相手の2つのエラーで更に2点を追加し4-0とした。藤田投手を援護したいウインズは五回表、二死から八番松岡選手と九番大久保選手が出塁するとランナー二三塁としチャンス到来！続く一番桐島選手は痛烈な打球を放ち、センター前に抜けた！と思われたが、打球が二塁ランナーの足に当たってランナーアウトとなりチャンスを活かせなかった。六回表もウインズは一死満塁とし再びチャンスメイクしたがパスボールによる1点止まりだった。サンデーズは六回裏、四番田中選手のヒットと五番野々下選手の四球で出塁すると相手のエラーで2点を追加。七回表のウインズの攻撃は三者凡退となりゲームセットとなった。最初、緊迫した投手戦となるかと思われたがサンデーズの6得点中5点にエラーが絡んでおり、ウインズにとっては守備からの乱れで勝機を逃した試合となってしまった。しかし、そつのない守備と足を使った攻撃で堅実な試合運びで勝利したサンデーズは土台がしっかりしていることを感じられた試合であった。

(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則)





**奈多グラウンド 先制点を生み出すホーネット自慢の俊足好打！そつのない攻撃にて圧勝！！**

三苦ホーネット (2勝) 4 0 4 1 3 1 2 井手、矢野○-広木

ソルトベイスターズ (2敗) 1 0 0 0 0 1 八柄、中村(祐) ●-酒井

**3BH** : 今田 (三苦ホ) **2BH** : 広木2 (三苦ホ)、酒井 (ソルト) **盗塁** : 稲葉、今田 (三苦ホ)



両チームとも開幕2戦目をむかえ、気合い十分の中プレイボール！一回表、昨年度首位打者の山崎選手が恒例のバントヒットにて出塁、続く二番稲葉選手、三番矢野選手も俊足を飛ばして絶妙のバントヒットにて早くも満塁。ここで若き主砲四番広木選手が右中間へ2点タイムリー二塁打にて早くも先制！！続く五番松尾選手もセンター前にはじき返す2点タイムリーヒットで、ソルトベスターズ先発八柄投手の立ち上がりを攻める。一回裏、ベスターズの攻撃は、一番八柄選手がデットボールにて出塁し、続く坂田選手が送りバントでランナーをに壘まですすめると、三番田中広孝選手が綺麗にセンター前へ反撃の一本を放つ。続く中村耕一郎選手に期待がかかるがショートゴロ併殺打にて井手投手を打ち崩せず。二回の攻防は両チーム得点なく、迎えた三回表、井手選手のレフト前ヒットを皮切りに、稲葉、矢野選手の連続レフト前ヒットにてこの回4点をもぎとりホーネットペースに持ち込む。反撃したいベスターズだが 三回まで井手投手、続く四回よりリリーフした矢野投手の前に三者凡退が続く。ホーネットは四回表に1点を加え、この時点で9対1とコールドゲームの予感が漂った。そして五回表、矢野選手のこの日4打数4安打目のレフト前ヒットが飛び出し、またもや四番広木選手の右越え二塁打が飛び出し1点追加。さらに打撃好調の今田選手の右中間三塁打が飛び出し2点目追加。さらに何かをやってくれるミスター（永島選手）のショートゴロエラーにて3点目を追加し、12対1と大差をつける。五回裏のベスターズは、五番酒井選手の右越え二塁打が飛び出すが後続が倒れ、コールドゲームにて試合終了。ホーネットのチームカラーの一つとも言える、足を絡めたそつのない攻撃と頼れる若き主砲の一発がゲームを支配した試合だった。（記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：井手翔一郎）



ソルトベスターズ先発の八柄投手。



一回表、山崎選手恒例のバントヒット。



一回表、広木選手の先制2点右中間二塁打。



一回裏、田中（広）選手の綺麗なセンター前ヒット。





四回表、打撃好調の今田選手のライト前ヒット。



五回表、何かをやってくれそうなミスター永島選手。



五回裏、酒井選手の意地の右越え二塁打。



4打数4安打+抑えの切り札矢野選手（左）と  
2本の二塁打を放った広木選手と（右）

## 第2週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第2週、4月27日は4試合が行われました。

青松園Aの奈多クラブ対レッドサンデーズ戦は、昨年2位の奈多クラブがその力量を発揮して、昨年まで奈多サンデーズの江口-荒口バッテリーから7点を奪うと、奈多クラブ今林瑠生投手があわやパーフェクトの投球を見せ、7-0の完勝。六回裏にチーム初安打を放ったレッド田浦選手は71歳とリーグ最年長、スゴイ。昨年レッドに引き分けた奈多クラブに今年は油断がなかった。

青松園Bの三苦三球会对奈多フェニックス戦は、新しいユニフォームで意気込む三球会打線の前にフェニックス池見投手が立ち塞がりました。三球会吉留投手の投球が安定しないうちに捕まえたフェニックスが11安打、三球会は7安打で3-15でフェニックス勝利。フェニックスは4打席4四球の二番今林文彦選手を除く先発全員安打でした。今年も打線が活発です。

雁ノ巣軟式2の新町ウインズ対奈多サンデーズ戦は、好投手同士の投げ合いでしたが、守備力の差が出る結果に。5安打を放ったウインズに対し、サンデーズは3安打。しかし結果は1-6でサンデーズの勝利。打てなくても勝つ試合運びが出来るところが優勝へ繋がるといういい例ですね。エラーして気落ちしてずるずる行くのか、それともナニクソ！と奮起するのか。大きな差になります。ウインズ藤田投手は三回の三者三振を含む8奪三振でした。



奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対ブルーマーリンズ戦は、ホーネッツ15安打の猛攻で12-1のコールドゲーム。初回のホーネッツ山崎、稲葉、矢野選手の三者連続バントヒットでお膳立てして、得点能力の高い四番広木選手、五番松尾選手が返すという理想的な先取点の取り方で一気にペースを掴んだホーネッツ。ソルトベイスターズもその裏タイムリーで1点を返すもホーネッツ井手、矢野両投手の前に2安打に抑え込まれました。ホーネッツ広木選手は今季捕手として出場し、2試合で2失点とよく投手陣をリードしています。

さて、GWを過ぎ前半の休みを経ていよいよ盛り上がってくるWSLですが、三友クラブだけがまだ試合をやっていません。梅雨入り前の清々しいこの時期の活躍が最終結果に多大な影響を与えます。調子の上まらない選手は、ここから巻き返しを！調子のいい選手はこのままシーズンを駆け抜けてください。